

第4回 『周りの人も協力を』の巻

百合子さんは、ヨシ子さんが今後も一人暮らしを続けていけるかどうか、とても不安になりました。しかしヨシ子さんは「ここで暮らしたい」という気持ちが強く、今後も住み慣れた家で生活することになりました。百合子さんは、近所の人やヨシ子さんの友人に、「最近、物忘れがひどくなってしまった。何かあったら私のところに連絡してください」と伝えました。



登場人物



○ よい例

× 悪い例

【解 説】

周りの誰もが、認知症の知識を持ち、ちょっとした工夫や気づかいができれば、認知症があっても地域の中で安心して暮らすことができます。本人がたとえ間違ったことを言っても、それを正すのではなく、関心ごとを他に向けたりすることで落ち着くことができます。本人の言われることを否定せず、一度は受け入れることがポイントです。

